

平成 16 年度 中学生のための景観教室

実施報告書

## はじめに

宮崎市では、平成2年4月に宮崎市都市景観条例を施行し、「豊かなひろがりのある、花のにあうまち・みやざき」を都市景観形成の基本理念として、緑豊かな自然と文化に育まれた、宮崎らしい、美しく魅力あるまちづくりを推進しています。

「都市景観」とは、視覚として捉えられる建築物や木々の緑などの都市の風景やこれを取りまく遠景としての自然環境はもとより、市民生活の中から生まれてくる街の表情、文化、心象風景など、質的、精神的なものを含めた総合的なものとして受け止められるものです。そのため、都市景観は単に物理的な環境を示すものではなく、市民が営む都市活動、都市環境が総括された個性、感性の表現として、その都市の文化水準を表すものといえるものです。

私たちの住む宮崎市には、緑豊かな山々や美しい海岸線、<sup>とぅとぅ</sup>滔々（水が広くみなぎり、勢いよく、盛んに流れて行くさま。）と流れる大淀川などの恵まれた自然が多く残されています。それらを活かしながら、文化の香り豊かな快適な市民生活が営めるように、自然環境と都市空間をバランスよく配置し、市民が共有できる良好な景観を有するまちを創っていく必要があります。

そのためには、市民一人ひとりの「景観」に対する意識の高揚を図ることが大変重要になっています。特に、将来の景観形成の担い手である子供たちに対して、学校教育の中で景観やまちづくりに関する話題を積極的にとり上げ、景観について学ぶ機会を提供するためのしくみが必要とされています。

最後に、この「景観教室」は、景観に関する学習を社会科の授業にとりあげた初の試みとして、平成14年度から実施しているものです。実施にあたり、ご指導、ご協力をいただいた宮崎市立東大宮中学校の先生方や楽しい雰囲気です。授業に臨んでいただいた生徒のみなさんに対し厚くお礼申し上げます。

## 目 次

第1章 景観教室の概要	．．．	P 1
第2章 景観教室の進め方		
STAGE 1 ( 1時間目)	．．．	P 3
第3章 まちづくりに関する学習		
STAGE 2 ( 2～3時間目)	．．．	P 6
第4章 まちなみ観察・調査研究		
STAGE 3 (夏休みの活動・4時間目)	．．．	P 11
第5章 まちなみ模型づくり		
STAGE 4 ( 5～17時間目)	．．．	P 14
第6章 景観教室の学習を振り返って		
STAGE 5 ( 18～19時間目)	．．．	P 23

# 第1章 景観教室の概要

## 1 実施目的

「都市景観」は、市民一人ひとりの様々な生活意識や価値観に基づく活動の結果として創り出されるものであり、良好な都市景観の形成を推進するにあたっては、市民や事業者の景観に対する知識や認識を深めることが重要です。市では、このような市民の意識を醸成すべく、道路や河川などに地域の方々と協働して花を植えたり、また、景観シンポジウムや講演会といった各種イベントを開催するなど、様々なかたちで情報提供や啓発活動に努めているところです。

景観教室は、「都市景観」をテーマにした授業を学校教育の中にとりこむことにより、将来の都市景観形成の担い手である子供たちの景観に対する興味や関心を喚起し、自主的な活動を通じて知識の習得を図る試みです。

## 2 実施期間

平成 16 年 7 月 ~ 16 年 10 月

## 3 実施協力

宮崎市立東大宮中学校（藤岡宏校長）

## 4 実施科目

1 年ふるさとタイム（担当：橋口誠三郎教諭）

生徒 21 名

## 5 実施項目

STAGE 1 景観教室について（オリエンテーション）

景観教室の内容、スケジュール等の説明

STAGE 2 まちづくりに関する学習

都市計画と住民参加のまちづくりについて

都市景観からのまちづくりについて

STAGE 3 まちなみ観察・調査研究

夏休みの自主研究、調査研究内容の発表

STAGE 4 まちなみ模型づくり

200 分の 1 のスケールでまちなみ模型作成

STAGE 5 景観教室の学習を振り返って

## 6 実施概要

### 時間別実施状況

1 時間目	オリエンテーション 景観教室の進め方、スケジュール等説明 グループの編成：5班（各班4～5人）
2 時間目 3 時間目	まちづくりについて 都市計画と住民参加のまちづくりについて 都市景観からのまちづくりについて 夏休みの課題（まちなみ観察の目的など）
夏休み （8月）	まちなみ観察・調査 学校や自宅周辺、旅行先などで、気になった風景 やまちなみを写真に撮り、撮影場所や感想をレポ ートにまとめることにしました。
4 時間目	まちなみ観察・調査の発表 夏休みに各自が撮影した写真を利用して、まちな み観察のレポートをまとめ、一人ひとり発表を行 いました。
5 時間目	都市景観について 模型づくりの前に、再度、「景観」について学習。 景観形成から見た都市の空間について 沿道景観のコントロール手法について
6 時間目 ～ 17 時間目	模型づくり～ 各班でテーマを決めて、まちなみ の模型を制作。 土台づくり（道路、土地の区画割り） 建物その他施設の製作 5つの班の模型について、特徴その他感想を発 表後、改善すべき点等についてみんなで検証し ました。 建物の配置や緑による修景等の改善を行いました。
18 時間目 ～ 19 時間目	景観教室のまとめ 実施報告書の作成準備（各人・各班ごとに実施内 容や感想をまとめました。）

## 第2章 景観教室の進め方 (STAGE 1)

### 1 時間目 - 景観教室について (オリエンテーション) -

景観教室で学習する内容について、前年度の状況 (宮崎東中学校) を紹介しながら、実施スケジュール等を説明しました。



#### オリエンテーション

- ・「景観教室」の進め方、スケジュール等について
- ・班分け (1班4人~5人、5班に編成)



#### まちづくりに関する学習

- ・都市計画課 (まちづくり) の仕事について
- ・都市景観からのまちづくりについて
- ・まちなみ観察の視点、調査目的



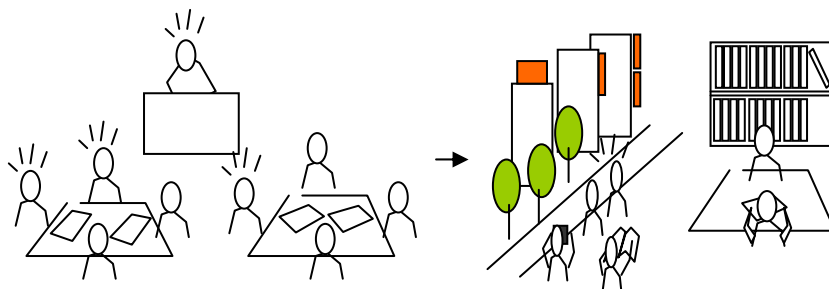
#### 夏休みの課題 (まちなみ観察・調査)

- ・生徒一人につき1個レンズ付きフィルムを配付します。
- ・学校や自宅周辺のほか、夏休み中の旅行先などで、気に入った風景やまちなみなどを写真に撮り、撮影場所、感想などをメモしておきます。
- ・「まちなみデザイン」をテーマに、評価できるまちなみ、好ましくないものの事例や建築物、緑などの景観要素について自主研究 (調べ学習) します。  
↳ 夏休みあけに、レポートを提出します。



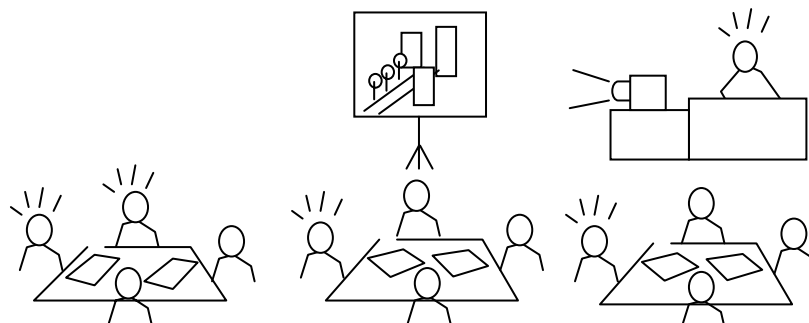
### まちなみ観察・調査結果のまとめ

- ・ 夏休みの活動について、各人が持ち寄った写真やレポートをもとに班ごとに発表内容のまとめを行います。
- ・ 発表テーマ、ポイントの確認及び役割分担を決定します。



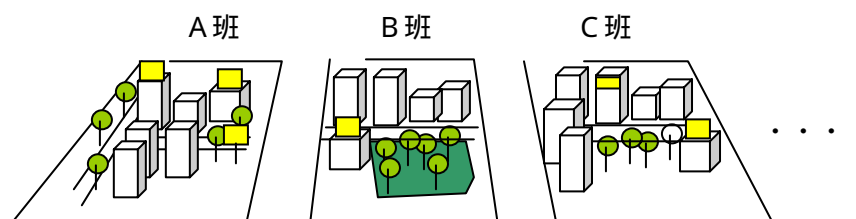
### 調査・研究の発表

- ・ 各班による事例調査等の発表
- ・ 建築デザインや緑化の手法などについて、各班の自主研究課題を、プロジェクター等を利用して発表します。



### 実習コーナー（模型づくり）

- ・ テーマに沿って、調査した景観事例をもとに、景観要素と考えられるパーツを作り、各班がまちなみの模型をつくります。
- ・ 個別パーツによりどのように変化するか学習します。
- ・ 各班の模型を連続し、まちなみを認識させるようにします。





#### 景観教室のまとめ

- ・景観教室のまとめを行います（調査、実習内容のまとめ）。
- ・実施報告書（小冊子）に載せる各人、各班の感想その他の内容を検討します。

模型づくりを終えた時点で、まちづくりについてもっと詳しく勉強したい事項や疑問などがある場合には、特別（追加）授業を行います。

例）緑のまちづくりについて（公園緑地課）・・・など

景観教室の実施内容については、

- ・小冊子にまとめ、参加生徒に配付します。
- ・今後の学校教育との連携を図るため、各学校にも配布します。
- ・実施内容については、市のホームページに掲載します。



## 第3章 まちづくりに関する学習（STAGE 2）

### 2 時間目 - 都市計画と住民参加のまちづくり -

まちづくりのための計画～都市計画について

わたしたちのまち・みやざきには、たくさんの人が様々に働き、学び、暮らしています。市民のみなさんが安全で快適な場所として、まちを健全に維持し、豊かに育てていくためには、まちづくりのための計画（都市計画）が必要となります。

道路、公園、下水道、さらには病院や学校などの公共性の高いものを都市施設と呼び、どこにどのくらいの規模でつくるのか、まちの大きさや人口などとのバランスを考えて整備することが求められています。また、まちのなかの貴重な自然環境を開発から守ったり、良好な都市の景観を守り、育てることも重要です。



#### Check さまざまな都市施設

私たちの生活は、そこに住まいがあるだけでは成り立ちません。快適な暮らしのためには、住まいと住まいを結ぶ道路や、憩いの場としての公園などのさまざまな都市施設が必要になります。

#### 道 路

歩行者や自動車などの交通路としてはもちろん、防災空間（火災の広がりを道路空間でじゃ断）、環境空間（風通し、明るさ、開放感などを確保）、収容空間（下水道や電線などを埋設）としての機能をあわせ持

ちます。

#### 公園

日常生活に密着した住民の憩いの場や住民同士の交流の場であり、スポーツ・レクリエーションの場、災害時の避難場所としての役割を担います。

#### 下水道

家庭や工場などから出る汚水を排除し、悪臭や害虫、伝染病などの発生を防止し、雨水を排除して浸水からまちを守り、集めた汚水を浄化して海や川に放流する機能を果たします。

#### その他

このほかに、供給・処理施設としての上水道やごみ焼却場、教育文化施設としての学校や図書館、医療福祉施設としての病院や保健所などがあります。

### Check まちづくりのルール

まちには、守らなければならないマナーやルールがあります。

まず、土地は、たとえ個人が所有するものであっても、周囲の状況を考慮して利用することが求められます。例えば、住宅地の中に、突然、大きなビルや工場を建てたらどうなるでしょう。静かだった住宅地は日当たりが悪くなり、出入りする車などで交通量が増え、騒音が出るなど住みやすい環境が大きく変わることになります。

このような問題を未然に防ぐために必要なのが、土地の使い方や建物の建て方についての共通のルールです。

都市計画法（1968年公布）

都市の発展と整備のための方法を定める法律。

建築基準法（1950年公布）

建築物の敷地、設備、構造、用途についての基準を定める法律。

### Check 住民参加のまちづくり

地域住民にとって身近な事柄についての都市計画は、市町村が住民の意見を踏まえて策定・実施します。

事前に、公聴会や説明会を開いて、計画案を広く住民の方々に示し、その案に対する地域住民の積極的な意見や要望を計画に反映させていくことで、よりきめの細かい、その地域にふさわしいまちづくり計画を実現させることができます。

### 3 時間目 - 都市景観からのまちづくり -

#### 都市景観とは？

視覚として捉えられる

建築物や木々の緑などの都市の風景

都市の風景をとりまく自然環境

市民生活の中から生まれてくる街の表情、文化、心象風景



Check 見える環境であり、生活環境そのものです。

物、人、場所の相互関係により成立するもので、これらをどのように調和させ、秩序を保ち、融合させていくかが課題となっています。

#### なぜ、景観を考えることが重要になってきたのでしょうか？

経済性、機能性が最優先

- ・ 技術的な面にしか配慮がなされなかったこと。
- ・ 規制の範囲内であれば、建築が自由であったこと。
- ・ 歴史的価値を否定した開発が進行したこと。

など、経済成長を重視したことで、自然環境の破壊や公害問題など様々な弊害があらわれ社会問題化しました。

法制度の未整備

私的財産である建築物などについて、景観の観点から規制・誘導を行う明確な根拠（法令）が存在しませんでした。

理論的、技術的検討の遅れ

「質」で判断されるデザインの基準づくりが、行政になじみにくかった（美の基準づくり）。



Check ゆとりある、豊かな生活環境の追求

全国一律の法制度のもとで、画一的な都市化が進展する過程で、歴史的なまちなみの保存や良好な自然環境に対する関心が高まり、身近な生活環境をより豊かなものにすることが求められるようになってきました。

#### 景観行政の流れ

歴史的景観の保存から

歴史的背景を無視して進行する建築、開発に対する批判が、歴史的町並み保存・保全を行政施策に位置づける動きに発展し、その制度づくり（条

例・要綱)へと展開していくことになります(京都市、金沢市など)。



都市景観(デザイン)づくりへ

歴史的景観の保存・保全から出発した取組が都市全体の景観づくりを視点とした活動へとつながっていきます(横浜市・神戸市)。

先駆的な都市景観(横浜市 1965年頃~)

都市政策に「まちのデザイン(景観)を継続的にコントロールする」という概念を導入し(アーバンデザイン行政)都市空間の質的向上をめざして各種のプロジェクトを展開していきました。

- ・馬車道、伊勢崎などの商店街の再生
- ・重要地区のデザインガイドの策定  
(山下公園周辺、日本大通り地区、みなとみらい21地区)
- ・歴史的建造物の保存など



宮崎市の景観行政

平成2年に「宮崎市都市景観条例」を制定し、具体的な施策に取り組んできました。

都市景観形成地区の指定(4地区)

- ・橋公園通り地区
  - ・高千穂通地区
  - ・一ツ葉リゾート地区
  - ・日南海岸地区
- } 景観形成の基準を設定

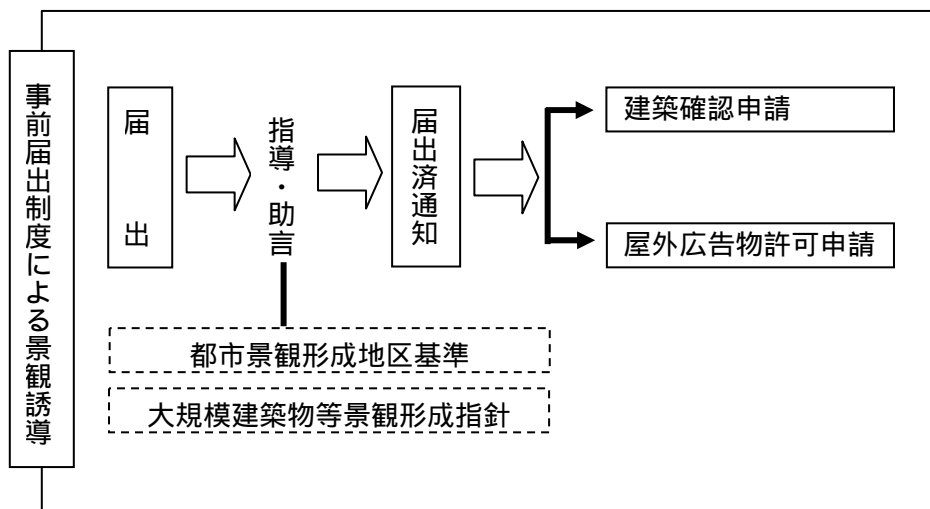


### Check 具体的な景観誘導の手法

景観形成地区の景観を保全・創出するため、建築行為等の内容について届出を義務付け、事前に協議を行います。

大規模建築物等の事前届出制度（景観形成地区以外）

大規模な建築物や工作物は、都市景観形成に及ぼす影響が大きいことから、その事業者に対し、建築行為等を行うに当たって景観上どのように配慮したか、事前にその内容について届出を行うよう義務付けています。



### 市民意識の高揚

都市景観条例に基づく届出（協議）制度は、民間（個人又は事業者）を対象としており、建築物等の形態・色彩等をコントロールしようにも、建築の自由、表現の自由に関わる問題があり、行政指導による景観誘導にも限界があります。

そこで、市民一人ひとりの景観に対する意識を高めることが重要になっています。



### Check 景観に対する市民意識の高揚

- ・宮崎市都市景観賞（平成4年度～）
- ・専門家による講演会等の開催
- ・違反広告物の市内一斉除却
- ・まちなみ観察隊の実施（平成12、13年度）
- ・景観教室（平成14年度～）

## 第4章 まちなみ観察・調査研究 (STAGE 3)

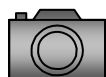
### 夏休みの活動 - まちなみ観察・調査 -

夏休みを利用して、実際に自分の住んでいるまちを徒歩又は自転車で観察し、まちなみの良いところや気になるところなどを自由にカメラで撮影することにしました。

家族や友達と旅行やキャンプに行ったときは、印象に残った場所や風景を撮影し、あとで自分のまちと比較してみることにしました。

#### Check まちなみ観察レポート作成

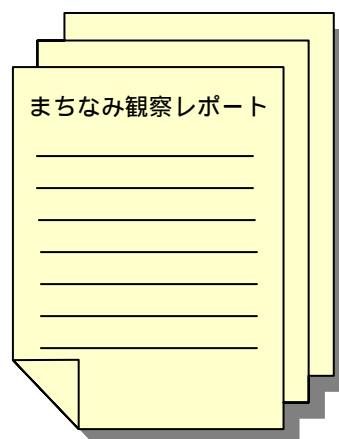
各自、できあがった写真を整理して、夏休み明けの授業で発表する内容をまちなみ観察ノートにまとめておきます。



レンズ付きフィルムを生徒に一個ずつ準備しました。



フィルムの現像等の費用も都市計画課で負担しました。



### 4時間目 - まちなみ観察・調査報告 -

夏休みの課題として実施したまちなみ観察・調査について、良い景観・悪い景観の写真をそれぞれ一枚ずつ選んで、撮影場所、理由などについて発表を行いました。



## 調査事例



### [撮影場所]

宮崎県立劇場

### [撮影理由]

ちゃんと整理されていて、きれいだったから。



### [撮影場所]

火切塚周辺

### [撮影理由]

道路の両端に緑(木)があって良いと思ったから。



### [撮影場所]

柳丸緑道

### [撮影理由]

遊歩道みたいになっており、周りの家と調和しているから。



### [撮影場所]

シーガイア

### [撮影理由]

フェニックスの木がたくさん植えてあってきれい。  
海が近くにあって、建物とも調和している。



### [撮影場所]

宮崎神宮周辺

### [撮影理由]

隣同士の建物の色と高さがあっていてよいと思った。

## 調査事例



### [撮影理由]

周りと建物の色が合っていない。違和感がある。

### [都市計画課コメント]

見る人によってはそういう様な感じがするでしょうね。



### [撮影理由]

看板がありすぎて、ちょっとややこしいと思ったから。

### [都市計画課コメント]

最近では街のあちこちで目にするようになりました。道案内と、よい景観の両立は難しいですね。

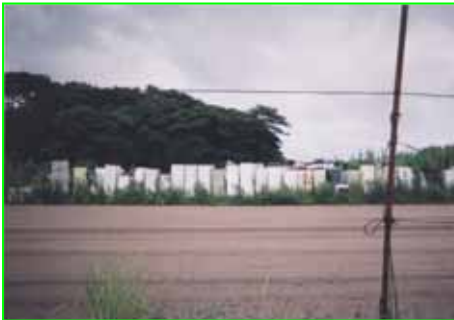


### [撮影理由]

きれいな田んぼだけど工場があるので、場所全体の景観が悪くなっている。

### [都市計画課コメント]

無造作に積み上げられた機械等が見えるので、景観に対する配慮をして頂きたいですね。



### [撮影理由]

空き地に冷蔵庫などの粗大ごみがたくさんあったから。

### [都市計画課コメント]

景観もそうですが環境の側面からも良いとはいえないですね。



### [撮影理由]

周りの風景と合っていない。色が派手すぎるから。

### [都市計画課コメント]

色使いを考えることが必要ですが、周囲と調和させる為の色の選定は難しいですね。



## 第5章 まちなみ模型づくり (STAGE 4)

5 ~ 17時間 - 模型づくりのまえに -

都市景観形成の手法について

まちなみの模型づくりを行う前に、都市景観の形成手法（より良い景観づくりのための手法）について勉強しました。

景観形成から見た都市の空間

景観形成の観点から、都市の空間を考えてみたとき、重要なポイントとして以下の三つの空間構成の概念が必要とされています。

・ 公的領域

道路空間に代表される公共の空間 = 公的財産

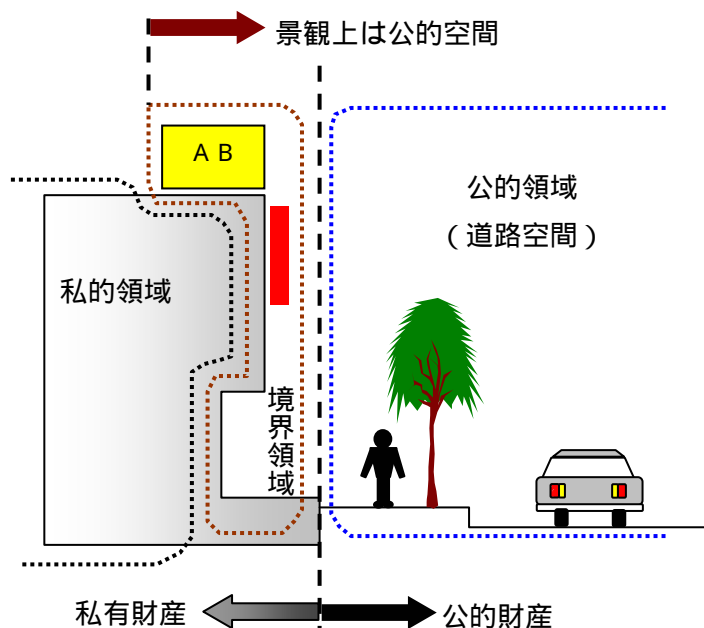
・ 私的領域

個人や会社等の民間が所有する土地建物等 = 私的財産

・ 境界領域

私的領域に属するが、公共の空間に面していることから、言わば半公共的な空間として位置づけられ、都市の良好な景観の形成を図るうえで、この境界領域をいかに誘導するかが課題となっています。

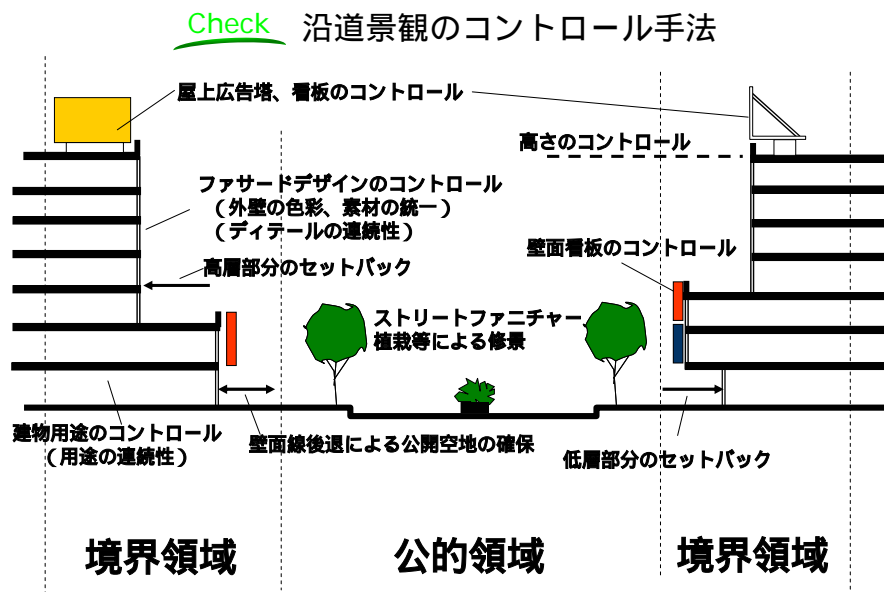
Check 景観形成からの都市空間の概念図



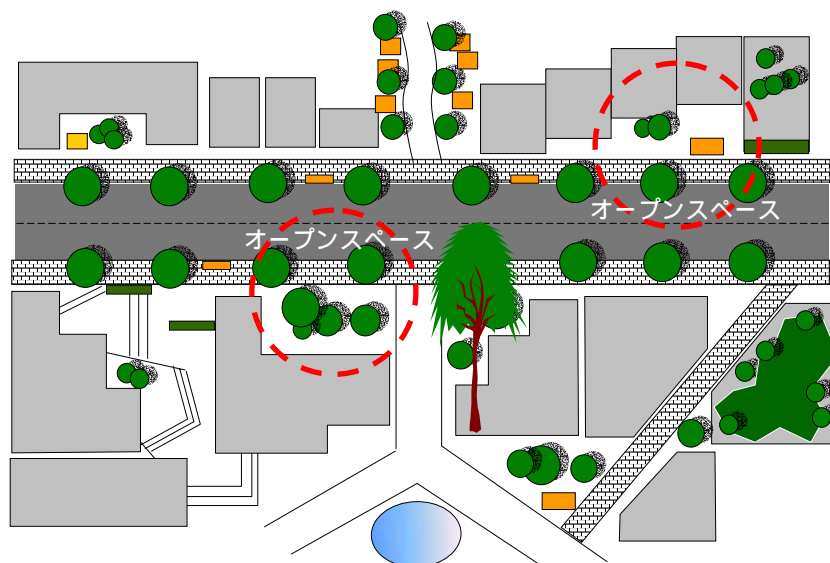
## 沿道景観のコントロール手法

道路空間から見た景観、道路に沿って続く連続したまちなみ景観を「沿道景観」といいます。良好な景観の形成を図るためには、景観を構成する様々な要素に目を向け、適正にコントロールすることが求められています。

- ・ 建物の屋上や壁面に設置される屋外広告物（看板）
- ・ 建物の高さ（スカイライン）
- ・ 道路境界からの建物（壁面線）後退（＝セットバック）
- ・ 建物の外壁の色彩や素材の統一などファサード（前面）デザインなど



**Check** 都市空間の演出方法  
(建物・植栽の配置、オープンスペースの確保など)



## - まちなみのイメージづくり -

模型づくりの前に、自分の理想とする景観（まちなみ）はどんなものかについて考えてみました。

### 自分の理想とする景観・まちなみに関する意見

自然の豊かな環境の中できれいな建物がバランスよくたっていて、人々にとって住み良いまちなみ。

緑がいっぱいで、周りの雰囲気が統一されているまち。

ゴミが落ちていなくて、自然を大切にして、看板なども派手にせず、歩いていて気持ちがよくなるまちなみ。

どのような方でも苦労することのない道路があり、その近くの建物の色などが考えられて決められているまち。

皆が快適に暮らせる（ゴミが少ない、公害がない、花と緑がある）。

自然の色と合い、みんなが気持ちよく住める景観。

緑のあふれている、あまり工場がなく目立たない、豊かなまち。

建物がいっぱいあって、花や木がたくさん植えてあるところ。

Check

キーワード：自然・花・緑

### まちなみのイメージを共有する

まちなみの模型は、生徒21名を5つの班に分け、各班1個ずつ作ることにしました。どのような「まち」を作るのか、各班で話し合って、これから作ろうとするまちなみのイメージを共有することにしました。

まちに必要な施設などをリストアップします。

住宅、アパート、マンション、ホテル、学校、ビル、デパート、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、飲食店、図書館、警察署、歩道橋、橋、工場、病院、公園、街路樹、まちのシンボルなど

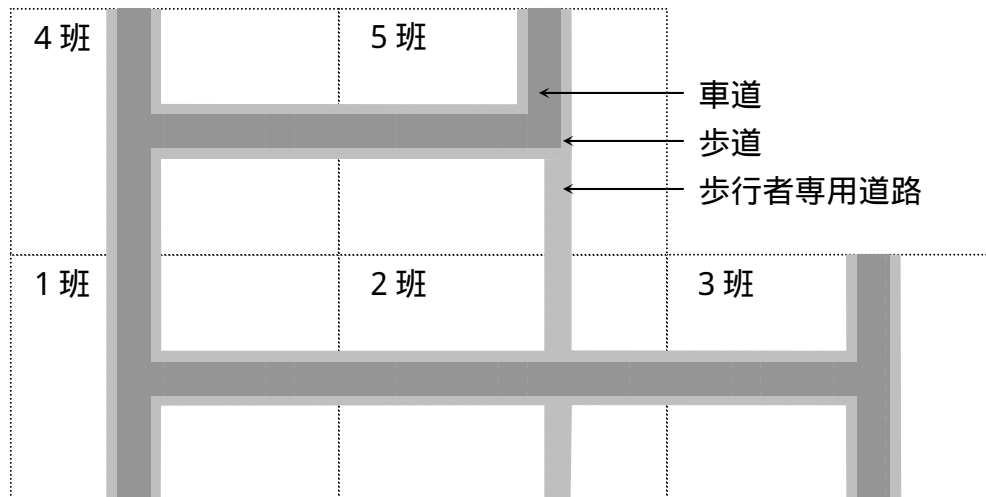
宮崎市以外で、自分の理想に近い都市（まち）はどこですか？

海や山の自然にあふれているという理由で、沖縄をあげる生徒、都会的な雰囲気にあこがれて東京をあげる生徒が同じ人数で多かったです。また、昔ながらのまちなみが残っているということで、京都、日南をあげる生徒も多かったです。シンガポールのきれいなまちなみの写真を見て、すごくきれいで行ってみたいという生徒もいました。

- 模型製作風景 -

土台づくり（道路や敷地の区画）

メインストリートとおおまかな土地の区画線を記入した設計図をもとに土台をつくりました。なお、今回は都市計画課が事前に準備しました。



建築物などの箱物づくり

スチレンボードを切り貼りして、建築物などの箱物を組み立てていきます。

普段の生活でハサミやカッターナイフをあまり使わないせいか、最初のうちはぎこちない手つきでしたが、けがをしないように注意して作りました。

Check 三角スケールの縮尺（目盛り）に注意！

三角スケールには、1/100、1/200、1/250、1/300、1/500、1/600の縮尺目盛りがついています。まちがえないように使用しなければなりません。





## 各班の模型の特徴など

1班から5班までの模型がそれぞれ完成し、班ごとに発表を行いました。

1 班



4 班



2 班



5 班



3 班



## 各班の模型の特徴

- 1班～ シンプルな建物と屋上緑化
- 2班～ 三角屋根の建物と遊具のある公園
- 3班～ 緑の多い歩道空間と屋上緑化
- 4班～ 東京お台場テレビ局風の球体建築物
- 5班～ 横浜みなとみらい風の建築物とシンボルタワー

どのようなねらい、どのようなまちなみをイメージして模型をつくりましたか？

- 1班～ 建物はあまり大きくなく、小さな建物が密集しているまちなみ

をイメージしました。

- 2班～ 緑がいっぱいあり、建物の高さも揃っているまちなみをイメージしました。
- 3班～ 建物がきれいで、緑がいっぱいある住みやすいまちなみ。
- 4班～ 都会の街をイメージして模型をつくりました。
- 5班～ 現実にはない、夢みtainな街をイメージしました。

模型をつくるときに、一番気をつけたことは何ですか？

- 1班～ 他の班の模型をつなぎ合わせてもあまり目立たないように、現実的な高さのものをつくるようにして、高い建物をつくらないようにしました。
- 2班～ 大きい建物と小さい建物のバランスをとるように心がけました。また、ここに置いたらどうなるのか、ここをこういうふうに変えたらどうなるのかを考えて、一番よいものになるようにしました。
- 3班～ 緑や建物の高さがかたよらないようにしました。また、緑を多くするようにしました。
- 4班～ 寸法を間違えないように、ひとつひとつ丁寧に作ることを心がけました。
- 5班～ 本物みたいにみえるように、細かいところに気をつけました。

自分たちの模型で、うまくできたところは何ですか？

- 1班～ 屋上の緑化
- 2班～ 民家や公園を工夫できたところ
- 3班～ 屋上の緑化
- 4班～ 球体の模型など、細かい部分
- 5班～ フライドポテトタワーと六角形ビル、それをつなぐ橋がうまくできました。

思うようできなかったところは何ですか？

- 1班～ 緑を増やしたけど、工夫が足らなくて建物が少し変になりました。
- 2班～ 建物を敷き詰めすぎたところと、普通の建物ばかりだったので工夫した方がよかったです。また、木を作るときにボンドを付けすぎるとブロッコリーになるし、少ないと台風の後の木のようになって難しかったです。
- 3班～ 公園が草ばかりで全然公園らしくなかったのもう少し何か

あったほうが良いと思いました。

4班～ 球体をつくる時、少しだけ長さを間違えてしまいました。あと、木の作り方が難しかったです。

5班～ 建物と建物の間が大きく空いてしまったこと。

他の班と模型をつなげて見たときの感想や反省点

1班～ 僕たちの班は建物が小さかったけど、小さい建物と大きい建物とで分けるとバランスがよくなることが分かりました。

2班～ 他の班同士の公園がつながったり、ビルの高さが合わなかったことに気がつきました。

3班～ いろいろな街がつながって、たくさんの建物があったり、少しだったりしてバランスがとれていました。

4班～ やっぱり自分たちの班が一番だと思いました。

5班～ つなぎあわせて、建物をいろいろと移動させて緑を入れたら、最初と全く違ってびっくりしました。街路樹などの緑がないと街がきれいに見えないことが分かりました。



街路樹などを一定間隔に設置しました。





## まちなみ模型の完成

建物の配置を換え、全体に統一感を持たせるように修正して完成しました。



## 第6章 景観教室の学習を振り返って (STAGE 5)

18 ~ 19時間 - 景観の学習を終えて -

### 感想

生徒のみなさんに、景観教室の学習を振り返って感想文を書いていただきました。全文を掲載することができませんが、その一部をご紹介します。

この学習でまちなみの様子がわかりました。最初は何を勉強すればいいのかわからなかったけど、いろいろな写真の例を見せてみもらい、それをいかして夏休みに写真を撮りました。そうして少しずつまちなみの様子が分かり、街はどういう風にすれば景観がよくなるのかを知りました。

模型を作った後はスチレンボードにのせて、みんなとつなげて、みんなで意見を出し合って模型の場所をかえたりしました。その後木を植えたら、街がすごく変わって見えました。僕たちはこの景観学習でいろいろなことを学び、すごく楽しい景観学習になりました。

景観の写真ではカメラを持ち、いろいろな自転車で撮りに行きました。良い景観や悪い景観もありました。どちらかという悪い景観が多かったです。良い景観を撮ろうとしてもなかなか見つかりませんでした。今の宮崎県の景観は悪い方だと思います。これから良い景観を増やしていきたいです。

景観教室はとても勉強になりました。自分の街をあんまりじっくり見たことがなくて、派手な建物や環境に悪いところがたくさんあったことにびっくりしました。これから、自分の街がどう変化していくかわからないけど、自分の街が理想の住みやすくきれいな街になればいいなと思いました。この学習をもとに、少し街に目を向けてみて景観の事を考えられればいいなと思いました。

この景観の学習をして、未来の景観は今の僕たち、現代の僕たちが左右していくことを改めて実感しました。僕はこの経験をもとにより良い暮らしをつくりたいと思います。

模型を作るときは、高い建物や低い建物を作ったり、まるやしかくなどいろ

いろな形の建物を作りました。自分たちの班だけ見ると少し建物が少ないかなと思ったけど、全部の班をつなげてみると結構たくさんあっていいと思いました。緑色の部分を多くしたり、木を立てたりすると、最初とは違う感じになってもっと良くなりました。

この景観教室をうけて、どんな街が理想なのか知ることができました。どこにどんな建物があったほうがいいのか、緑がたくさんあったほうが良いかと思ったりして、自分たちが思ったとおりの街ができました。これから自分たちの住みやすい街づくりができればいいと思いました。

自分の地域の良い景観や悪い景観を写真にとって、なぜ悪いと思ったのか、良いと思ったのかなどを考えて発表しました。自分たちの街の環境問題や福祉の問題についても考え、自分たちの街を詳しく知ることができました。いろいろ学べてよかったです。

はじめ、景観教室って何なのかなと思っていたけど、写真を撮ったり、模型づくりという初めての経験などをして、すごく思い出にもなったし、地域のこともしっかり学べました。私が住んでいる火切塚には悪い景観がたくさんあると思います。あらためて景観って大切なことなのだと思います。これから自分の身の回りのことについて、もっと考えていきたいです。

模型づくりでは、つなげた時の建物の大きさや形などで大きく変わることを学びました。小さい所に大きいものを建てると陽が当たらなかつたりするので、移動させるなど様々な工夫ができたと思います。建物を作る時の設計などで迷ったりもしたけど、なんとか失敗などもせずにちゃんとできて、とても嬉しく思いました。

最初は写真を撮るのはかんたんだと思っていたけど、意外と良い景観や悪い景観を探すのは大変で難しかった。模型を作り終わってから皆の模型を合体させた時に、隣の班の公園がつながったり、建物の高さが合わなかつたりしていて、建物を入れ替えたり排除するのを考えるのも難しかった。

模型では自分たちの好きな街を作って考えたり、その班で作った模型を合わせて考えてみたり、緑を入れようと考えてみたりしました。そうすると、とてもバランスの良い街ができて、現実にはない夢のような街になったのでこういう街に住んでみたいと思うくらい、うまく出来ました。発表では一人ひとりの発表を聞いていくうちに、人によって撮る場所や感じ方が違うのだな

と思いました。このような体験はもうないと思うので、中学 1 年の景観教室でとっともすごい模型をつくったというのを、一生忘れない思い出にしたいです。

夏休みに文化公園周辺、火切塚周辺をカメラで撮りに行ったときは、こんなに自分の身の回りにはいろいろな良い景観があり、家やまちなみなども分かることができたけど、逆に悪い景観、色の派手な所やゴミの集まりなど、今まで全く気にもとめていなかったことが分かったと思います。この経験をいかして、将来もし家などを建てる機会があったら、周りの家にあった色や大きさなどを考えて、家を建てたいです。また、家に帰ったら家族に景観のことを色々と教えてあげたいです。

良い景観では文化公園の写真を選びました。理由は緑がたくさんあってゆっくりできるし、広いからのびのびあって良いと思いました。悪い景観では火切塚周辺の空き地に粗大ゴミが何年も前からあって、すごく気になっていたのも悪い景観として選びました。

模型の形が最初はほとんど四角だったけど、先生方のアドバイスや自分たちで考えたアイデアをもとに、いろいろな形の建物（模型）を作ることができた。また、みんなの班の模型をくっつけてみた。建物は人それぞれの個性が出ていた。私たちの街にもこんな建物があったらいいだろうなというものがたくさんあった。本当に模型が出来上がってよかった。

模型を作るとき、自分がイメージする良いところを考えて作りました。また、そこにその建物があってどう住みやすいか、そこに木や緑があってどうなるかとか考えて作りました。完成して目を合わせてみたら、面白くできあがっていたので嬉しかったです。こういう経験を活かしてやっていきたいです。

写真を撮って学んだことは、色が派手すぎてもまわりの物や建物をだいなしにしてしまい、その景観を悪くしてしまうことを学びました。また、ゴミを捨てて汚くして、そこにどんどんゴミを人々が捨てていき、そこはゴミのたまり場になり、周りの景観を悪くしてしまいます。だから建物を建てる時にはまわりの景観や色なども考えて建てるべきだと思いました。

班でうまくできても、他の班とくっつけて見てみると、高い建物があっちにあり、こっちにありでとてもバランスの悪いまちなみが見えました。まちなみは周りの雰囲気大切なのだと思いました。建物を調整し、街路樹も植え

でもう一度全部をくっつけたら、まちなみがものすごく変わったような気がしました。緑が増えただけで街がとても明るくなったように見えました。色が無いととても寂しいものだと思います。でも、田んぼのような自然いっぱいのところポツンと派手な色があると、目立っていけないし、逆にどこに行っても暗い世の中だったらもっと寂しいと思いました。景観は周りに合うようにしなければいけないと思いました。

模型を作って景観は大事ということが分かりました。自分の生活の中でも、「あ、ここは良い場所だな。ここはちょっと悪いかな。」という感じで、どんどん学んでいきたいです。

自分の街に良い景観や悪い景観があるのかと心配したけど、思った以上にたくさんあったのでとてもびっくりしました。マンションばかりしかない所や、広々としていてとてもきれいなものなど様々なものがありました。そしてそれを発表しました。この活動を通じて普段見ていない所に、たくさんの良い景観や悪い景観があることが分かりました。この景観教室を通して、まちなみのきれいさやバランスがとても大切だということが分かりました。これからはこの経験をいかして、もっと自分の街を見ていこうと思います。

## あとがき

平成14年度から始めたこの「景観教室」も今年で3年目となります。将来の景観形成の担い手である子供たちに、少しでも景観に対する興味や関心を持ってもらえるように、景観やまちづくりに関する話題や具体の事例をたくさんとりあげました。

どの生徒もはじめは「景観」と言われても理解できていないようでありましたが、感想文を読んでもみると、良い景観・悪い景観の調査とまちなみ模型づくりなどを通じて、少しは景観に対する意識も芽生えたのではないかと感じます。将来の宮崎のまちづくりや景観づくりに携わる生徒が出てくることを大いに期待しています。

人にやさしい宮崎

思いやりの心にみちた豊かな宮崎

自然と環境を守り、スポーツと文化に親しめる宮崎

平成17年3月発行 宮崎市都市整備部都市計画課  
〒880-8505 宮崎市橘通西1-1-1  
TEL .0985(21)1811 / FAX .0985(21)1816

